



防災テスト

◆次の問題について、正しいものには○を、誤っているものには×を書きましょう。

③④⑨⑩⑪⑫については、言葉を書きましょう。

- ① 地震が発生したときは、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に避難する。
- ② 日本の周辺には、プレートが集まっており活発な地震発生地帯となっている。
- ③ 「津波てんでんこ」とは、三陸地方に伝わる言葉である。どういう意味か書きなさい。
- ④ 「津波避難3原則」とはどういうものか。3つすべてを書きなさい。
- ⑤ 津波は川をさかのぼることはないので、川の近くは安全である。
- ⑥ 津波は引き潮から始まる。
- ⑦ 津波は陸地に近づくとつれて高さは高くなる。
- ⑧ 津波は繰り返し来ないので、1回来たら避難を解除してもどってもよい。
- ⑨ 嘉永7年（安政元年）11月5日（1854年12月24日）の安政南海地震で、稲の束に火を付けて村人たちの命を救った「稲むらの火」のモデルとなった人物は誰か。
- ⑩ ⑨の人物が、津波の被害にあった村からの人口流出を防ぐため、また、津波から村を守るために私財を投じて村に作ったものは何か。

- ⑪ 「津波防災の日」である11月5日が国連総会本会議において採択され、「〇〇〇〇の日」という国際デーとなりました。何の日となったか書きなさい。
- ⑫ 土砂災害の種類は、おもに3つある。3つすべてを書きなさい。
- ⑬ 土砂災害は突然起こるので、前ぶれはない。
- ⑭ 大雨が降り続いたり大きな地震があったりしたときには、土砂災害の発生を考える必要がある。
- ⑮ 学校や家庭、地域の避難訓練に積極的に参加することが大切である。
- ⑯ 台風は巨大な空気の渦巻きになっており、反時計回りに強い風が吹き込んでいる。そのため、台風の左半分の方が風が強くなっている。
- ⑰ 家具を固定したり、家具の配置を工夫したりしてもまったく意味がない。
- ⑱ 災害の時は食料や水など必要なものはもらうことができるので、災害に備えて家庭で準備しておく必要はない。
- ⑲ 避難所とは、災害により家に住めなくなったときに一時的に避難生活をするところであり、緊急避難先とは、災害時に危険を避けるために一時的に避難をするところである。
- ⑳ 家族で、避難場所などを確認しあったり、災害時の対応について話しあったりすることは大切である。